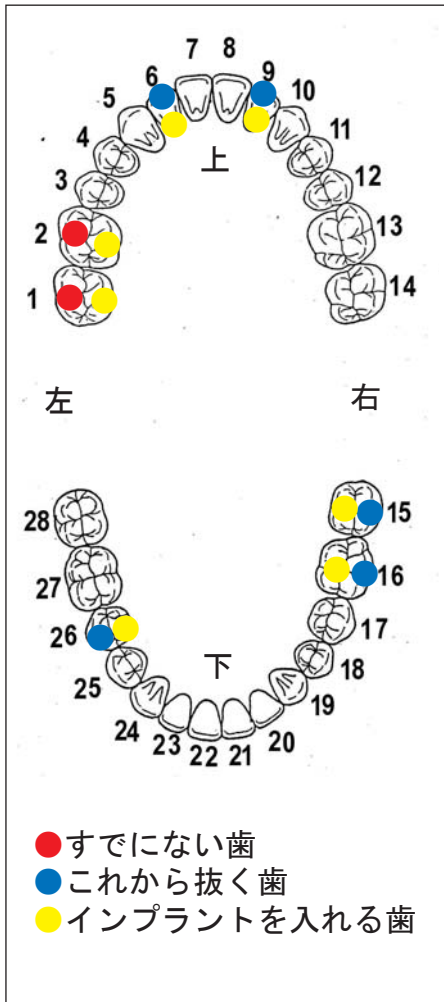


治療計画の例



- ① 9と6の歯は残すことが出来ませんので、歯を抜くと同時に骨を作る手術をします。そのまま、約4～6ヵ月そのままにしておきます。
- ② 15, 16, 26の歯を抜きます。他の虫歯の治療や歯周病の治療は平行してやっていきます。
- ③ 1, 2にインプラントを入れます。骨が少ないため骨を同時に作るようにしていきますので、そのまま約6ヵ月待ちます。
- ④ 26にインプラントを入れます。そのまま約3ヵ月待ちます。
- ⑤ 15, 16にインプラントを入れます。そのまま約3ヵ月待ちます。
- ⑥ 6と9にインプラントを入れます。そのまま約6ヵ月待ちます。
- ⑦ インプラントを入れてから、一定期間が経過してから、インプラントの頭を出す手術をします
- ⑧ 全てのインプラントに仮歯を順次入れていきます。かみ合わせのチェックを数ヶ月行います。11, 18は出来るだけ残すようにしていきますが、状態があまり良くないため他の歯よりは少し弱いです。
- ⑨ かみ合わせのチェックが終わってから、インプラントに最終的な歯を入れていきます。

全体的に歯周病の治療と、かみ合わせも治していきます。インプラント以外の治療(根や、歯肉の治療等)は保険診療の料金を頂きます。また、この治療計画は骨の状態などにより、変更する場合があります。その時は、どのように変更になるのかをお話しさせていただきます。インプラントは虫歯にはなりませんが、お口の中が不潔になると、歯周病と同じように骨が無くなりますので、常に清潔に保ち、半年に一度はメンテナンスをしに来院して下さい。

●保険と自費(保険外)の違いは

- ① 保険でつくと金額が安い。
- ② 保険は前歯の表面を白くできますが、色が変わりやすいのと透明感が少なく、歯肉と歯の境目がわかってしまう。ただし、他の歯は全部銀色になります。
- ③ 保険の材料は材質が劣るため、適合性が悪くなり、虫歯と歯周病になりやすい。
- ④ セラモメタル・クラウンは透明感があり色が変わりません。ハイブリッド・クラウンは年月が経つにつれて色が変わる場合があります。
- ⑤ 保険の材料は固いため、噛み合わせが悪くなりやすい。
- ⑥ 保険の材料はアレルギーが出やすい。
- ⑦ 自費は8年間の保証があります。(ただし、半年に1度は定期検診が必要になります。定期検診にこない場合は保証が無効になります。)